

「防災塾・だるま」10周年へのメッセージ

横浜国立大学 客員教授
全国警備業協会 専務理事
上原 美都男

このたび「防災塾だるま」の設立10周年記念誌にメッセージをと副塾長である池田さんから依頼されました。他ならぬ池田さんからの依頼を断る理由もなく二つ返事でお引き受けしたものの、イメージがなかなか湧かず延び延びになっていました。



私と「防災塾だるま」との接点は2007年に遡ります。その当時横浜市の危機管理監を務めていた私は時事通信の中川さんからのご紹介で、神奈川大学に塾長の荏本教授を訪ね「防災塾だるま」の活動についていろいろとお話を聞かせていただきました。

「防災まちづくり講座」に集まった市民が中心になって月1回の「防災談義を楽しむ会」が始まったこと、市民間で防災情報を共有することで互いに防災意識を高め合って、市民防災力の向上を図ることを目的として「防災塾だるま」が発足したことなどについて熱く語っていただきました。まだ「防災塾だるま」の活動は始まったばかりでしたが、防災を一つの共通項として市民の中に人的ネットワークが形成され、これが市民の自主防災力の充実に繋がっていくことは、市役所の危機管理担当官としては願ってもないことであると感激したことを思い出します。

その後、「防災まちづくりコーディネーター養成講座」に参加させていただいたり、磯子区の片山さんが主催する町内会の防災訓練を見学させてもらったり、1・17神戸の集いにご一緒したり、東日本大震災の被災地を「防災塾だるま」の皆さんと2度にわたって訪問したりさせていただきました。いわば私の防災学習活動は文字通り「防災塾だるま」とともにあったと言っても過言ではありません。皆さんとご一緒してから、あっという間に10年が経ってしまいました。この間「防災塾だるま」の皆さんが様々な防災活動を継続され、市民の防災力向上という所期の目的達成のために大いに活躍されていることに対し、盛大なる拍手を贈りたいと思います。

「防災塾だるま」の設立10周年記念誌の発刊にあたり、今後の「防災塾だるま」の更なるご活躍とご発展を心から祈っています。

2016年3月

